

提 供 日 2026/09/16

タイトル 横井弘三「花籠持てる子供」と静岡県立葵文庫 講演会
の受講者募集

担 当 教育委員会 中央図書館企画振興課

連 絡 先 中央図書館企画振興課

TEL 054-262-1246



幸福度日本一の静岡県

倉庫から日の目をみた”日本のルソー”の代表作 横井弘三「花籠持てる子供」と静岡県立葵文庫 講演会開催

”日本のアンリ・ルソー”とも評され、近年再評価の高まりを見せる画家・横井弘三。当館の倉庫で長年保管されていた画家・横井弘三の初期の代表作「花籠持てる子供」※が、このたび県立美術館に移管されることを機に、その画歴と当館との関わりを学ぶ講演会を開催します。

横井弘三の波乱に満ちた画歴とともに、貴重なこの絵画がどうして当館の前身である静岡県立葵文庫に掲げられていたのか等、移管に携わった静岡県立美術館の学芸員が講演します。現在、受講者を募集しています。

※ 大正時代の二科展出品作として現存する唯一の作品です。

- 1 日 時 令和8年10月24日（土） 午後1時30分から2時30分まで
- 2 会 場 静岡県立中央図書館3階 中集会室
(静岡市駿河区谷田53-1)
- 3 講 師 喜多 孝臣（きた たかおみ）氏（静岡県立美術館上席学芸員）
- 4 定 員 50人(先着順、要事前申込)
- 5 参 加 費 無料
- 6 申込方法 ・ふじのくに電子申請サービス
・電話 054-262-1246
・来館（総合案内カウンターにて受付）

静 岡 県 教 育 委 員 会





ムセイオン静岡連携事業

横井弘三「花籠持てる子供」と 静岡県立葵文庫 講演会

このたび静岡県立中央図書館から静岡県立美術館に移管された横井弘三の絵画「花籠持てる子供」。長らく図書館の倉庫に人知れず眠っていたこの作品は、当館の前身である静岡県立葵文庫の児童室に掲げられ利用者を見守ってきたものであった。近年、再評価の高まりを見せる横井弘三の人物像や画歴とともに本作の県立葵文庫への収蔵経緯について講演する。

令和8年 **10月24日** 土
13:30~14:30 (受付開始13:00)

場所

静岡県立中央図書館
3階中集会室
(静岡市駿河区谷田53-1)

講師

静岡県立美術館
上席学芸員

キタ

タカオミ

喜多 孝臣 氏

参加無料
定員50人

* 要事前申込
* 先着順

主催

静岡県立中央図書館/静岡県立美術館

申込
方法

いずれかの方法でお申込みください

①ふじのくに電子申請サービス

こちら
から

②電話 054-262-1246

③来館 (総合案内カウンターにて受付)



※駐車場の混雑が予想されるため、公共交通機関でお越しください。

調べる・考える・解決する
静岡県立中央図書館